

熊本市現代美術館

2019年度国立美術館巡回展
東京国立近代美術館所蔵品展

木村政太郎の彫刻展

熊本初の
大彫刻展!!



保田武越
TUNAKOSHI
Yasutake



TAKAMURA
Kōtarō

高村光太郎

中田節平
HIRAKUSHI
Denchu



赤瀬利
AKASEGAWA
Gempei



近代から現代までの日本の彫刻と立体造形

2019 9.21 → 11.24

開館時間：10:00～20:00 (展覧会入場は19:30まで) 休館日：火曜日(ただし10月22日(火)は開館し、翌日休館)
|企画展・コレクション展との共通観覧料| 一般：1,000(800)円 シニア：800(600)円 学生(高校生以上)：500(400)円 [中学生以下無料]
* ()内は前売/20名以上の団体/各種障害者手帳(身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳)、電車・バス1日乗車券、JAF会員証、緑のじゅうたんサポーター証/各種障害者手帳をお持ちの方の付き添い者1名 *10月12日(土)は開館記念日のため入場無料
主催：東京国立近代美術館、熊本市現代美術館(熊本市・公益財団法人熊本市美術文化振興財団)、熊本日日新聞社 特別協力：崇城大学芸術学部デザイン学科マンガ表現コース
後援：熊本県、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本県文化協会、熊本県美術家連盟、熊本国際観光コンベンション協会、NHK熊本放送局、J.COM、エフエム熊本、FM97.1
熊本市現代美術館：TEL096-278-7500 〒860-0845 熊本市中央区上通町2-3 びぶれす熊日会館3階 www.camk.jp

「出品作家」竹内久一・山崎朝雲・米原雲海・平柳田中
萩原守衛・戸張孤雁・朝倉文夫・高村光太郎
藤川勇造・北村西望・石井鶴三・佐藤朝山・中原健二郎
荻島安二・橋本平八・斎藤義重・柳原義達・佐藤忠良
舟越保武・向井良吉・村岡三郎・吉村益信・若林奮
赤瀬川原平・三木富雄・曾木志雄・遠藤利克(生誕)

1. 舟越保武《原の城》1971年 2. 橋本平八《幼児表情》1933年 3. 高村光太郎《手》1918年頃
4. 平柳田中《鏡獅子試作》1998年 5. 赤瀬川原平《作者の予言(分)の卵》1992/94年
撮影：すへて大谷一郎 すへて東京国立近代美術館蔵



高村光太郎《鯨》1926年



村岡三郎《1954年7月》1954年



橋本平八《幼児表情》1931年



高村光太郎《手》1918年頃



平櫛田中《鏡獅子試作頭》1938年



舟越保武《原の城》1971年

撮影：すべて大谷一郎 すべて東京国立近代美術館蔵

本展は、「彫刻」という概念が誕生した明治期から、ロダンの影響、大正期から昭和初期の多様な展開、そして戦後の現代美術からたちあがった立体造形、さらには近代日本彫刻史を踏まえ発展していった現代彫刻までを、東京国立近代美術館のコレクションより、それぞれの時代を象徴する代表作から通観するものです。

ロダンに多大な影響を受けた高村光太郎や荻原守衛、中原悌二郎をはじめ、木彫の世界を広げた平櫛田中や橋本平八、第二次大戦後の現代美術で存在を示した舟越保武、向井良吉、三木富雄から1980年代の表現までを通観し、近代日本に新しく発生した「彫刻」という概念が、各時代を代表する作家達にどのような刺激を与え創造を促したのか、作家達はキャリアを通じて「彫刻」をどのように解釈し、何に重きを置き立体として制作したのかを探ります。

熊本県下では、近代日本彫刻をテーマにした大規模な企画展は初めての開催です。本展が、教科書やメディアを通じて知っていた「あの名品」の本当の魅力を紹介する機会となれば幸いです。

EVENT

東京国立近代美術館学芸員による特別講演会

講師：大谷省吾(東京国立近代美術館美術課長)
9月21日(土) 14:00-15:30
ホームギャラリー、入場無料

プレミアムナイトツアー

担当学芸員による解説付きのナイトツアー。会場を貸切でお楽しみいただけます。
11月1日(金) 19:30-21:00
(レクチャー30分、会場内ツアー1時間)
集合場所：ホームギャラリー
定員：40名(事前申込)
要展覧会チケット(半券可)

ギャラリー・ツアー

当館学芸員と一緒に展覧会をめぐるツアーです。
9月29日・10月6日・11月3日・11月24日
いずれも日曜日各回 15:00-15:40
集合場所：展覧会場入口
要展覧会チケット(予約不要)

プレママ+ファミリーツアー

0~6歳の子どもと大人、または妊娠中の方と家族や友人の皆さんと一緒に展覧会を楽しむツアー。
9月28日(土) 10:30-11:10
場所：展覧会場
定員：7組*大人のみ要展覧会チケット
(要予約、お電話での事前申し込み)



イラスト作画：崇城大学芸術学部 デザイン学科マンガ表現コース有志

CAMK コレクション展 vol.6

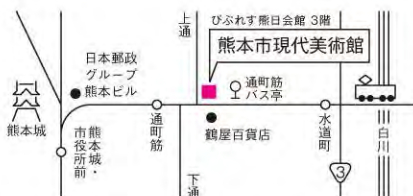
きっかけは「彫刻」。
- 現代日本の彫刻と立体造形 -



同時開催

草間彌生
《私の犬のリンリン》(部分)2009年
熊本市現代美術館蔵
寄贈：KDDI株式会社

©YAYOI KUSAMA



熊本市現代美術館

www.camk.jp CAMK

〒860-0845 熊本市中央区上通町2-3 びぶれす熊日会館3階
[お申込み・お問合せ] TEL096-278-7500

[交通アクセス] 当館は交通アクセスの良い熊本市街地中心部にあります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。美術館専用の駐車場はございません。自家用車の方は、びぶれす熊日会館駐車場(有料)や周辺のコインパーキングをご利用ください。○JR熊本駅から市電「健軍町」行(約15分) ○JR新水前寺駅から市電「熊本駅」「上熊本駅」行(約10分) いずれも「通町筋(とおりちょうすじ)」電停下車(徒歩1分)